

黒星病抵抗性と結実安定性が改良された 優良ナシ系統の育成

(独)農研機構 果樹研究所



ニホンナシ栽培では、気温上昇や多雨によるニホンナシ黒星病の激発、開花期の低温・長雨による結実低下が顕在化しています。在来品種「巾着(きんちゃく)」のもつ黒星病抵抗性と、自家和合性品種「おさ二十世紀」のもつ結実安定性を合わせ持つ優良ナシ系統をDNAマーカー選抜で育成します。

1

黒星病抵抗性のDNAマーカー開発



- 黒星病抵抗性では
- ・経済栽培品種には、黒星病抵抗性の品種はありません。
- ・ニホンナシ在来品種「巾着(きんちゃく)」が抵抗性Vnkを持っています。

- ・黒星病抵抗性を第1染色体に同定
- ・選抜マーカー開発

2

自家和合性のDNAマーカー開発



- 結実安定のためには
- ・「二十世紀」の枝変わり品種の「おさ二十世紀」などが自家和合性S4smを持っています。
- ・自家和合性は、高結実率で受粉作業が不要です。

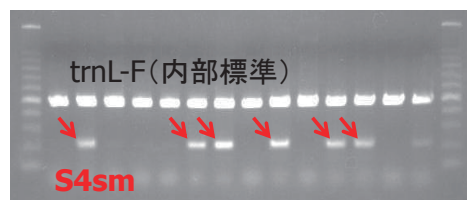
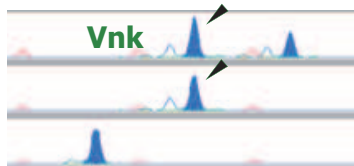
- ・自家和合性を第17染色体に同定
- ・選抜マーカー開発

3

DNAマーカー選抜による優良ナシ系統の育成

素材系統:430-91
(巾着x豊水)xあきあかり

素材系統:426-96
(新高x豊水)x(豊水xおさ二十世紀)



農薬散布回数
2/3～半分に

黒星病抵抗性+自家和合性の優良ナシ系統の育成
新規の素材探索とマーカー選抜法の開発

受粉作業軽減・高結実・
品質や収量安定

問い合わせ先:(独)農研機構 果樹研究所 寺上伸吾 terakami@affrc.go.jp